

東京都立練馬工科高等学校

教科		国語					科目	言語文化			
クラス又は班		2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2	新編言語文化(第一学習社)・国語便覧(数研)			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】				
本文中の漢字や語句を正しく理解することができる。歴史的仮名遣いを正確に捉えることができる。			本文の内容を読み取り登場人物の心情を的確に捉えることができる。古典文学を読み、現代との共通点や相違点を捉えることができる。				発問に対して主体的に考え、周囲と話し合うことができる。積極的に課題に取り組み、期限内に提出することができる。				
学期	(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数				
				知	思	態					
1学期	4	クラス分けテスト 小説『島の少年』	読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。	○	○	○	25				
	5	小説『島の少年』	読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。 小説の内容に対して自分の考えをもち感想を書く。	○	○	○					
	6	小説『羅生門』	読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。 小説の内容に対して自分の考えをもち感想を書く。	○	○	○					
	7	小説『羅生門』 確認テスト	読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。 作品の続きを想像して作品を創作する。	○	○	○					
2学期	9	古文「古文の学習」 『徒然草』『仁和寺にある法師』	古文をなぜ学ぶのか意義を知る。 歴史的仮名遣いや語句の意味を理解することができる。	○	○	○	28				
	10	『徒然草』『仁和寺にある法師』	語句の意味を理解することができる。 内容を捉えることができる。 内容の面白さを理解することができる。	○	○	○					
	11	小説『よだかの星』	読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。 小説の内容に対して自分の考えをもち感想を書く。	○	○	○					
	12	確認テスト									
3学期	1	小説『よろこびの歌』	登場人物の心情を正確に読み取る。	○	○	○	17				
	2	漢文「漢文の学習」 「故事成語」 『狐借虎威』	漢文をなぜ学ぶのか知る。訓読を知る。 内容を理解し、漢文に親しむ。	○	○	○					
	3	確認テスト		○	○	○					
							年間予定授業時間数		70		
評価の方法		1、授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2、提出物(授業ワークシートの提出と取り組み状況) 3、小テスト 4、確認テスト(学期に3回実施) 以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。									
備考		習熟度による指導の実施。年度当初にテストを行い、Bクラスの人数をAクラスよりも少なくする。									

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	ワークシート、提出物の完成度と提出状況。 協働学習への参加、課題解決に向けての意欲。 漢字テストによる学習到達度。 スピーチ、発表学習への取り組み。 上記項目を観点別に評価し、評定を算出する。
備考	

教科		地理歴史					科目	地理総合			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2	130 二宮 地総 705 130 二宮 地図 706			
教科・科目のねらい（目標）											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】			
・地図やグラフ等の資料から、その地域がどのような社会なのかを読み取り、答えることができる				・資料から適切な情報を読み取り、そのデータを基に地理的事象について自分なりの判断ができる ・資料を読み取り、その地域が今後どのような社会になるかを構想することができる				・授業を通して、地理の知識を身につけ、今後にいかながら、地球上の諸課題についても、主体的に関わる姿勢を持つ ・遅刻・欠席をほとんどせず意欲を持って授業に参加し、課題等に積極的に取り組み、提出期限を守り提出する			
学期	(月)	指導項目			指導内容			評価基準			予定
1学期	4	地図帳の使い方 緯度&経度・方位 地図の種類(地形図・主題図など)			・具体的な地名を地図帳で調べることができるようになる ・地球の姿を確認し、地図を見て方位を確認する ・地図の種類について学習する			○	○	○	30
								○	○	○	
								○	○	○	
	5	日本の領土&領海・都道府県 世界の様々な地域(気候帯・宗教)			・日本の領土、地名について確認する ・世界の6つの気候区分を学習する (気候・生活様式の違い、宗教と生活様式の結びつき)			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
	6	世界の諸地域(アジア) 世界の諸地域(ヨーロッパ・アフリカ・南北アメリカ・オセアニア州)			・世界の諸地域について、それぞれの地域の地理的特徴・生活様式・経済活動・文化について学習する。			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
	7	・確認テスト 世界の諸地域について (調べ学習)			・1学期の学習内容に関する確認テスト ・世界の諸地域についての調べ学習			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
2学期	9	1学期の復習 (世界の地域区分・気候帯など) 日本の諸地域(九州地方)			・日本の九州地方について、地理的特徴・生活様式・経済活動・文化について学習する。			○	○	○	32
								○	○	○	
								○	○	○	
	10	日本の諸地域 (中国・四国・近畿・中部・関東・東北・北海道)			・日本の諸地域について、地理的特徴・生活様式・経済活動・文化について学習する。			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
	11	・地球的課題と国際協力 人口・食料、都市、資源、環境問題			・地球上の諸課題(人口・食料、居住・都市、資源・エネルギー、環境問題)について、地理的データを確認しながら、現在の問題点と国際協力体制を学習する。			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
	12	・確認テスト 地球的課題について			・2学期の学習内容に関する確認テスト ・地球上の諸課題について、地理的データを確認しながら、現在の問題点と国際協力体制を調べる。			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
3学期	1	・生活圏の諸課題 自然環境と防災 地図の活用			・日本の自然環境の特徴、自然災害について学ぶ ・身近な地域の災害の可能性を調べる			○	○	○	8
								○	○	○	
								○	○	○	
	2	自然環境と防災 持続可能な地域づくり 地図の活用(身近な地図作成)			・身近な地域の災害の可能性を調べる (ハザードマップの活用法を学ぶ) ・様々な地図データの例を確認し、地図を作成する。			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
	3	・確認テスト 1年間の振り返り			・3学期の学習内容に関する確認テスト			○	○	○	
								○	○	○	
								○	○	○	
							年間予定授業時間数		70		
評価の方法		○地理的事象についての基本知識を獲得しているか ○資料から適切な情報を読み取ることができるか ○地理的事象に関して、知識を基に考察し、自らの考えを表現できるか ○授業、課題に対して、積極的・主体的に取り組む姿勢を持っているか ○出席状況									
備考		※2 学年は、1 学年で学習した資料から情報を読み取り自分の考えを表現する力を深められるように留意する。									

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	理科					科目	物理基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	東京書籍「新編物理基礎」

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
エネルギー的な視点から、自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	エネルギー的な視点から、自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	1編 物体の運動とエネルギー	○	○	○	28
		1章 直線運動の世界	○	○	○	
	5					
		重力加速度・放物運動	○	○	○	
		【実験】重力加速度の測定	○	○	○	
	6	2章 力と運動の法則	○	○	○	
		力の合成・分解	○	○	○	
		運動の3法則	○	○	○	
	7	運動方程式	○	○	○	
		【実験】摩擦力	○	○	○	
2 学期	9	確認テスト	○	○	○	28
		3章 仕事とエネルギー	○	○	○	
	10	仕事の原理と仕事率	○	○	○	
		力学的エネルギーの保存	○	○	○	
	11	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	○	○	○	
		【実験】熱と温度	○	○	○	
		1章 熱	○	○	○	
	12	熱の移動と保存				
3 学期	1	2章 波	○	○	○	14
		【実験】波の伝わり方	○	○	○	
	2	波長と速さと振動数	○	○	○	
		音波	○	○	○	
		確認テスト	○	○	○	
	3	3章 電気	○	○	○	
		静電気と電流				

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等) 3.提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況) 4.小テスト(単元ごとに実施) 5.確認テスト(年間で3回実施)
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・主体的に学習に取り組む態度等 以上の点を総合的に見て評価する。
備 考	

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		保健体育					科目	保健			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							1	現代高等保健体育			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】				
知識・技能を問う問題について、おおむね解答することができる。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。			思考・判断・表現を問う問題に対して積極的に取り組み、おおむね解答できる。自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したりまとめることができる。				欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や指示をよく聞きながらも、積極的に自分の意見を発言し、周りの生徒と協力することができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。				
学期	(月)	指 導 項 目		指 導 内 容			評価基準			予 定 時 数	
							知	思	態		
1 学 期	4	生涯を通じる健康	オリエンテーション				○	○	○	10	
			思春期と健康								
			性意識と性行動の選択								
	5	生涯を通じる健康	結婚生活と健康				○	○	○		
			妊娠・出産と健康								
			家族計画と人工妊娠中絶								
	6	生涯を通じる健康	加齢と健康				○	○	○		
			高齢者のための社会的取り組み								
	7	生涯を通じる健康	確認テスト対策				○	○	○		
確認テスト											
答案返却											
2 学 期	9	生涯を通じる健康	保険制度と保健サービスの活用				○	○	○	13	
			医療制度と医療費								
			医療機関と医療サービスの活用								
	10	生涯を通じる健康	大気汚染と健康				○	○	○		
			水質汚濁と健康								
			土壌汚染と健康								
	11	生涯を通じる健康	健康被害の防止と環境対策				○	○	○		
			環境衛生活動の仕組みと働き								
			食品と環境の保健と私たち								
	12	生涯を通じる健康	確認テスト対策				○	○	○		
確認テスト											
答案返却											
3 学 期	1	社会生活と健康	働くことと健康				○	○	○	9	
			労働災害・職業病と健康								
			健康的な職業生活								
	2	社会生活と健康					○	○	○		
	3	生涯を通じる健康	確認テスト対策				○	○	○		
確認テスト											
答案返却											

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学習に取り組む態度等 ・各学期確認テスト 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.被服製作、調理実習(取り組み、出来ばえ、創意工夫等) 3.提出物(作品、授業プリント、実習レポートの提出と取り組み状況) 4. 小テスト 5. 確認テスト(学期に3回実施) 以上の5項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備 考	担当者A : 後半生徒の食生活・自立・子ども・消費経済・住生活・高齢者 : 前半生徒の食生活 担当者B : 前半生徒の衣生活・自立・子ども・消費経済・住生活・高齢者 : 後半生徒の衣生活 以上を担当

東京都立練馬工科高等学校

教科		数学					科目	数学Ⅰ 演習			
クラス又は班		2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組	単位数	使用教科書・教材			
担当者							3	新編数学Ⅰ（数研出版）			
教科・科目のねらい（目標）											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】				
図形と計量、二次関数及び集合と命題についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表す式、グラフを相互に関連付けて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。				数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学期	(月)	指導項目	指導内容					評価基準			予定時数
								知	思	態	
1学期	4	三角比 三角比の性質	sin,cos,tan 三角比の表 三角比の応用					○	○	○	39
	5	三角比の相互関係 三角比の拡張 三角比の方程式	三角比の相互関係 $0^{\circ} \leq \theta \leq 180^{\circ}$ の三角比 $\sin \theta = \alpha$ の解法					○	○	○	
	6	正弦定理 余弦定理 面積	正弦定理 余弦定理 三角形の面積					○	○	○	
	7	関数とグラフ	関数の値、1次関数のグラフ					○	○	○	
2学期	9	2次関数のグラフ	頂点が原点にある場合、平行移動した場合のグラフ 平方完成が必要なグラフ					○	○	○	39
	10	2次関数の最大・最小 2次関数の決定 2次方程式	定義域のある場合、ない場合の求め方 いろいろな条件での求め方 2次方程式、実数解の個数					○	○	○	
	11	2次不等式 2次関数とx軸	2次不等式 判別式の活用					○	○	○	
	12	集合と命題	集合、命題と条件					○	○	○	
3学期	1	集合と命題	命題とその逆・対偶・裏 命題と証明					○	○	○	27
	2	データの分析	データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数					○	○	○	
	3	データの分析	分散と標準偏差、2つの変量の間の関係					○	○	○	
							年間予定授業時間数			105	
評価の方法		【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態度 【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。									
備考		年度当初に基礎学力診断テストを行い、科で基準を設けたうえで、Bクラス的人数が10人程度になるように分ける。この年間授業計画はABクラス共通である。									

東京都立練馬工科高等学校

教科・科目のねらい（目標）

學期	(月)	指 導 項 目	指 導 內 容	評 估 基 準			預 定 時 數
				知	思	態	

	年間予定授業時間数	70
--	-----------	----

評価の方法	1.主体的に学ぶ態度(言語活動においてコミュニケーションを継続する姿勢) 2. 知識・技能(コミュニケーションを行う上で使用頻度の高い単語、教科書内容を理解する上で必要な単語の知識、聞かれたことを正確に理解する技能、正確に聞き取る技能) 3. 思考・判断・表現(コミュニケーションを成立させる力、相手に伝わる話し方の表現、聞いた内容から概要を理解する力) 以上3観点についてA,B,Cの評価をする。
備考	

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	キャリア技術科					科目	実習
クラス又は班	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						4	工業技術基礎・ワークシート

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
各系列の技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	各系列の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	各系列の技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期 (月)	指 導 項 目	指 導 内 容	評価基準			予 定 時 数
			知	思	態	
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	9～3	機械系実習（機械・自動車系列選択生徒対象） 指導項目：切削加工・内燃機関分解と組立・自動車点検整備 指導内容：旋盤加工に関する基礎的な知識と技術の習得 溶接に関する基礎的な知識と技術の習得 内燃機関の分解・組立に関する基礎的な知識と技術の習得 自動車の点検作業に関する基礎的な知識と技術の習得	○	○	○	140

年間予定授業時間数

140

評価の方法	1.主体的に学習に取り組む態度(レポート評価・出欠・遅刻の状況、行動観察による評価等) 2.知識・技術(レポート評価・作品や提出課題の評価、行動観察による評価等) 3.思考・判断・表現(レポート評価・作品や課題の評価、行動観察による評価等) 以上の3項目について総合的に判断し、ルーブリックに基づいて評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

教科・科目のねらい(目標)

製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、図面等の役割や作図法などについて、実践的な知識および技能を身につけている。	製図の基礎的・基本的な知識を活用し図面などの作成に関する基礎的・基本的な技術を習得するとともに図面などを正しく読み、作成することができる。	授業準備を行い、授業に積極的に参加し自ら製図における基礎的・基本的な知識や技術を習得しようとしている。
--	---	---

学 期	4	製図1	製図の基礎の復習 クラス分け試験 第三角法による投影図と等角図による立体図示、線の種類と用途	○	○	○	25
	5	物体の図示	立体の表現 等角投影図と三角法 補助投影図	○	○	○	
	6		展開図について 断面図について	○	○	○	
	7	基礎製図検定指導	基礎製図検定の概要 演習	○	○	○	

3 学 期	1	機械製図の基礎的な知識	機械要素の製図演習（ボルト・ナット）	○ ○ ○	10
	2		機械要素の製図演習（歯車）	○ ○ ○	
	3				

評価の方法	1. 授業態度(出欠状況、学習に取り組んでいる時の様子) 2. 実技(実践的技能の習得状況) 3. 提出物(提出状況) 4. 基礎製図検定試験の結果 これら4つの項目に基づいて総合的に評価を行う
-------	---

備 考	クラスによって授業時数に前後あり
-----	------------------

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	(1)知識及び技能:ペーパーテスト (2)思考力、判断力、表現力等:ペーパーテスト・ノート・ワークシート (3)主体的に学習に取り組む態度等:ノート・ワークシート・振り返りシート 上記3項目をルーブリックに基づいて評価する。
備考	本科目は2学年において、機械・自動車分野を選択した生徒が受講する少人数展開である。

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		キャリア技術科					科目	電気回路基礎			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2	実教出版 精選電気回路			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】				
電気的諸量の相互関係を理解し、それらを式の変形や計算により求めることができる。電気に関する諸量を測定するための基本的な技術をもっている。			いろいろな電気現象がなぜ起こるかを自ら学び、自ら考えることができる。また、基礎的・基本的な知識をもとに電気現象を数学的に考察し、表現することができる。				電気の諸現象に関心をもち、学習に意欲的に取り組み、学習態度が真剣である。				
学期	(月)	指導項目	指導内容				評価基準			予定時数	
							知	思	態		
1学期	4	量記号と接頭語	量記号と接頭語の理解				○	○	○	25	
		電気回路の要素	おもな電気用図記号の理解				○	○	○		
		電気回路の電流と電圧	電子、電流、電圧の関係の理解				○	○	○		
	5	電気回路を構成する素子	抵抗、コンデンサ、コイルの役割の理解				○	○	○		
		直流回路	直流と交流の理解				○	○	○		
	6	電気回路の電流と電圧	オームの法則の理解				○	○	○		
		抵抗の合成	直列、並列、直並列の計算の理解				○	○	○		
	7	確認テスト	1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題)				○	○	○		
		答案返却				○	○	○			
キルヒホッフの法則		第1法則、第2法則の理解				○	○	○			
2学期	9	消費電力と発生熱量	電力と電力量の理解				○	○	○	35	
		ジュールの法則	熱量を計算の理解				○	○	○		
	10	電流の化学作用と電池	電気分解の理解				○	○	○		
			一次電池と二次電池の理解				○	○	○		
	11	直流の総合問題	練習問題				○	○	○		
							○	○	○		
	12	確認テスト	2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)				○	○	○		
		答案返却				○	○	○			
再生可能なエネルギーを用いた電池		いろいろな電池について、環境への影響などの理解				○	○	○			
3学期	1	静電気	帯電現象・静電誘導・静電遮へいの理解				○	○	○	10	
		コンデンサ	静電容量・電荷・電圧の関係の理解				○	○	○		
	2	電流と磁気	磁石と磁気の関係、N極とS極の関係の理解				○	○	○		
		磁石とクーロンの法則	磁気に関するクーロンの法則の理解				○	○	○		
	3	学期確認テスト(一年間学習した内容から出題)									
							年間予定授業時間数		70		

評価の方法	1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	※1クラス3展開の電気の授業(座学)

東京都立練馬工科高等学校

年間予定授業時間数

東京都立練馬工科高等学校

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
----------	----------------	------------------

學期	(月)	指 導 項 目	指 導 內 容	評 估 基 準			予 定 數 時 數
				知	思	態	

[illegible]

評価の方法	・授業に対して積極的に取り組んでいる ・外部講師や企業の方と接する際の礼儀作法を身につけている ・資料の中からの的確に情報を収集することができる ・自身の考えを指定された様式で書き表すことができる
備考	朝学習として、月曜日から金曜日の朝10分間授業(週5回)を含む。

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		キャリアデザイン					科目	体験Ⅱ（共通）			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2				
教科・科目のねらい（目標）											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】				
各現象を体験することにより、経験者の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。			体験Ⅰに関する課題を発見し、携わる者として、技術の進展に対応し解決する力を養う。				体験Ⅰに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	（月）	指 導 項 目	指 導 内 容				評価基準			予 定 時 数	
							知	思	態		
1 学 期	4	ガイダンス(前期)	ガイダンス				○	○	○	20	
		各分野の体験	各分野の体験				○	○	○		
		コミュニケーション能力の育成	生徒同士の話し合い				○	○	○		
	5										
		各分野の課題発見	各分野の課題の発見				○	○	○		
		解決方法の模索①	生徒同士絵の解決方法の話し合い				○	○	○		
	6										
		解決方法の模索②					○	○	○		
		解決方法の決定	解決方法の決定				○	○	○		
	7										
2 学 期	9	まとめ①	生徒同士の話し合い、発表				○	○	○	35	
	10	ガイダンス(後期)	ガイダンス				○	○	○		
		各分野の体験	各分野の体験				○	○	○		
		コミュニケーション能力の育成	生徒同士の話し合い				○	○	○		
	11										
		各分野の課題発見	各分野の課題の発見				○	○	○		
		解決方法の模索①	生徒同士絵の解決方法の話し合い				○	○	○		
	12										
解決方法の模索②						○	○	○			
3 学 期	1	解決方法の決定	解決方法の決定				○	○	○	15	
	2	まとめ①	生徒同士の話し合い、発表				○	○	○		
	3	まとめ②	生徒同士の話し合い、発表				○	○	○		
							年間予定授業時間数			70	

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	